

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | くろみ | 公表日 | | | | 令和 7年 3月 31日 |
|----------|--------|--|-----|---------|--|---|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 9 | 0 | 限られたスペースを有効に使えるよう家具の配置など工夫している。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 9 | 0 | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 7 | 2 | 玄関やトイレなど段差を無くしバリアフリーに努めている。 | こどもにわかりやすいようにはしているつもりだがもっとわかりやすい環境にしていけないといけない。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 8 | 1 | | 清掃等を更に徹底し清潔な環境が保たれるようにする。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 7 | 3 | 個別の部屋が無いので仕切りをしたり仕切りのある洗面所などを利用して工夫している。 | こども気持ちを落ち着かせたり気持ちの切り替えができるような個室が無いので今後作らないといけない。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 9 | 0 | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | 2 | | 保護者さまの意見を踏まえて業務の改善を更に進めていかなければならない。 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | 2 | 定期的に職員の意見を話し合う場を設けて意見交換をしている。 | 意見交換の場でもった意見をもっと業務改善に繋げて行けるようにする。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 0 | 9 | | 保護者による評価のみなので外部の評価も行った業務改善に繋げていく。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 6 | 3 | | 研修内容をもっと幅広く職員個々のスキルアップが出来るようにする。 |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 9 | 0 | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 7 | 2 | | もっと細かくアセスメントを行いニーズや課題を正確に分析できるようにする。 |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 9 | 0 | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 9 | 0 | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 9 | 0 | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 9 | 0 | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 9 | 0 | 毎月の中頃職員間で話し合い翌月の活動プログラムを立案している。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 6 | 3 | | 固定化しないよう心掛けているが固定化してしまう事もあるので周囲にアンテナを張りこどもたちが楽しめるようなプログラムにする。 |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 9 | 0 | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 9 | 0 | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|---|
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 9 | 0 | | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 9 | 0 | | 記録内容をもっと内容の濃いものにし、支援の検証・改善にもっと役立てるようにしたい。 |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 9 | 0 | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。 | 9 | 0 | | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 7 | 2 | | 自己選択ができるような支援を増やせていけるようにする。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 9 | 0 | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 6 | 3 | | 関係機関ともっと連携が図れるようにしていく。 |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 9 | 0 | 学校のHPや学校だより、保護者さまからの聞き取りなどで送迎時間等を把握している。 | 送迎時間の相違などたまにあるので学校にも直接確認し送迎時間ミス無くしていく。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 0 | 9 | | 積極的に情報共有できるようにする。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 0 | 9 | | 求めがあれば応じる程度なので、もっと積極的に情報提供できるようにする。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 0 | 9 | | 児童発達支援センターと連携が図れるようにしていく。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 3 | 6 | 公園遊び等では地域のこどもと一緒に活動できるようにしている。 | もっと多くのこどもたちと交流できるような機会を作っていく。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 3 | 6 | | あまり積極的に参加出来ていないので、積極的に参加できるようにする。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 8 | 1 | 送迎時やLINE等を使い状況等を伝えている。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 5 | 4 | 送迎時に家族に対して相談等の支援を行っている。 | 個々の家族については支援を行っているが集団でのペアレントトレーニング不十分なので実施できるようにする。 |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 9 | 0 | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 9 | 0 | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 9 | 0 | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 9 | 0 | | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 3 | 6 | 家族も参加してバーベキュー会を開催している。 | 保護者同士で交流できるような催しをもっと開催し支援できるようにする。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 9 | 0 | | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 6 | 3 | 行事予定については毎月カレンダーを作成し、直接手渡ししたりLINEで発信している。 | HPをもっと活用できるようにしていく。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 9 | 0 | | |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|--------------------------|---|
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 9 | 0 | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 0 | 9 | | コロナ依頼地域住民に対する行事等を行っていないので今後は地域住民も交えた行事も考えていきたい。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 0 | 9 | | 家族までには周知できていない点もあるので周知できるようにしていく。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 7 | 2 | 子どもたちと一緒に定期的に避難訓練を行っている。 | もっと訓練内容を充実させていく。 |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 9 | 0 | | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 0 | 9 | | 食物アレルギーの有無については把握し職員間で共有出来ているが医師の指示書はないので医師からの指示書を提示してもらうようにする。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 7 | 2 | | 訓練が不十分なので訓練をできるようにする。 |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 7 | 2 | | 家族等への周知を徹底する。 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 9 | 0 | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 9 | 0 | | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 3 | 6 | | 今のところ身体拘束を行うような事案は無いが今後の為職員と協議しルール化して保護者にも明確にする。 |